



JGMA News

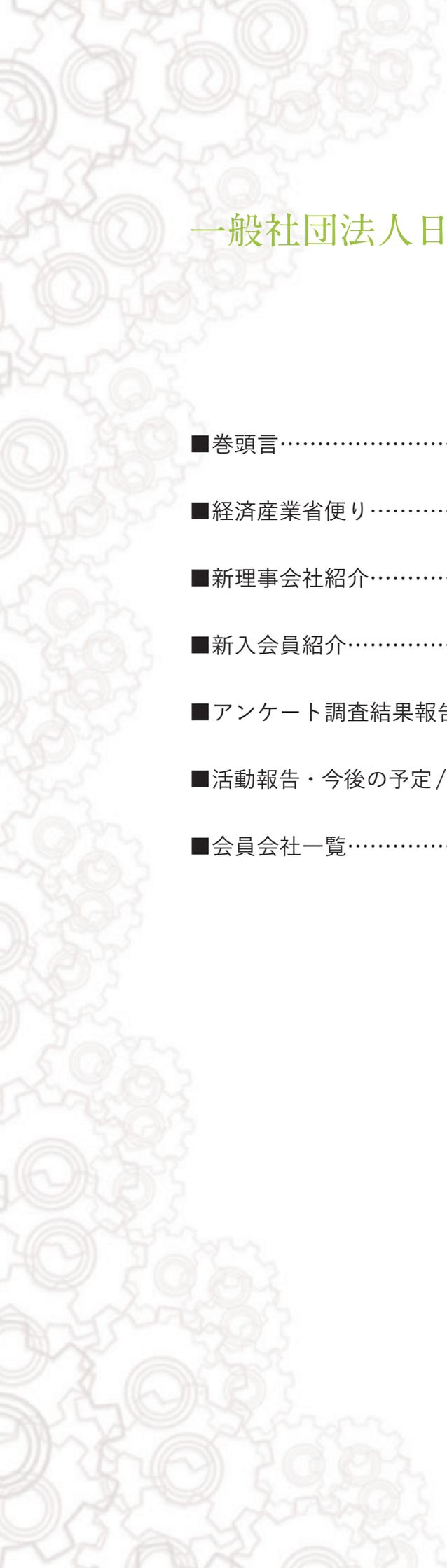
Japan Gear Manufacturers Association

[日本歯車工業会誌]

2020年 冬号
winter
vol.56



一般社団法人 日本歯車工業会



一般社団法人日本歯車工業会 JGMA News

目次

■ 巻頭言	1
■ 経済産業省便り	2 ~ 3
■ 新理事会社紹介	4 ~ 8
■ 新入会員紹介	9
■ アンケート調査結果報告	10 ~ 11
■ 活動報告・今後の予定 / 広告 (アムテック有限会社)	12
■ 会員会社一覧	13

「ウィズコロナ」で事業を推進

一般社団法人
日本歯車工業会
会長

植田 昌克



2019年12月末、中国武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界中に広がり、今もなお蔓延し続けています。ヨーロッパでは再び感染が拡大し、厳戒態勢に入りました。一方、日本では「GOTOトラベル」をはじめとするキャンペーンが実施され、徐々にですが経済活動に賑わいがみられるようになりつつあります。今しばらくは、感染症対策をしっかりと行いながら「ウィズコロナ」を実践していくことが重要になります。

日本歯車工業会では、今年度、感染症対策の準備が間に合わず「ギヤカレッジ」を募集開始の直前に中止としました。参加を楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございませんでした。次年度はオンラインによる講義を全面的に取り入れ、できれば対面による情報交換の場なども加えることで、これまで以上に充実したカリキュラムになるよう、目下、「ギヤカレッジ企画・運営委員会」で検討しているところです。

これまで主に工場見学を行ってきた経営研修会も今年度はコロナ禍で実施できず、新たな試みとして10月26日、経済産業省の安田課長補佐、夏見係長に機械振興会館までお越し頂き、『新型コロナウイルスの影響を踏まえた経済産業省支援策について』というタイムリーなテーマで、会場及びオンラインの参加者向けにご講演を頂きました。

経営者育成のための「若手経営者研究会」も11月下旬にオンラインで実施する予定です。同様に「ギヤカレッジ・フォローアップ研修会」もオンラインで委員会を開催し、新たな取り組みを検討しています。

ISO国際会議もすべてオンラインになっています。これまで、国際会議は長期の海外出張となりハードルが高く出席者が限定されていましたが、オンラインであることから参加しやすくなりました。「標準化委員会」では次世代のISO対応人材を発掘、育成する準備を進めています。

コロナウイルスの影響により不自由な点がある一方、オンラインを有効に活用することでメリットも多々あることがわかってきました。「ウィズコロナ」を実践していく上でも、ニューノーマルを意識して、歯車業界の活性化並びに人材育成を目指して事業運営してまいりますので、引き続きご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

令和3年度 経済産業省概算要求について

経済産業省製造産業局産業機械課 部品・一般産業機械二係長 夏見 祐奈

経済産業省産業機械課の夏見です。新型コロナウイルスは、いまだ感染がおさまらず、欧州等では、二度目のロックダウン措置を取る国も出てきました。日本国内でも、一日当たりの感染者数は横ばいが続いています。経済活動との両立を図るべく、少しずつ街に活気が戻り出したところかと思えます。歯車工業会の工業活動も、オンラインの活用等で、コロナに負けず、推進していただいています。会員企業の皆様の状況も様々かと思えますが、当方としても、引き続き、政府の支援策について情報提供等させていただきますので、ご不明の点や、その他ご相談等、遠慮なくご連絡いただければと思います。

今回は、9月30日にまとまった当省の令和3年度概算要求をご紹介します。概算要求という名の通り、あくまで当省としての予算案であり、今後、政府の予算案としてまとめられ、国会にて承認を得るというプロセスを経て、正式に決定されるものですが、当省の来年度以降の考え方が反映されているものになります。

まず大前提として、新型コロナウイルス感染拡大を受けた国難の中で、事業と雇用を守るための緊急対策の着実な実施があります。その上で、新型コロナを契機とした新たなトレンドを踏まえた「新たな日常」を先取りすることで、グローバルな構造変化への対応の遅れを挽回し、日本の構造的問題を解決するチャンスにする、としています。

「新たな日常」の先取りによる成長戦略としては、デジタル、グリーン、健康・医療の3本の柱が立っています。デジタルについては、これまで政府が推進してきたデジタルトランスフォーメーションの更なる推進、またMaaSやドローン等の社会システムの再設計等を進めていくと共に、コロナを契機とした新トレンドである、接触回避、無人化、AI化により加速化するAI、ロボット、自動走行等研究開発への集中投資も挙げられます。

グリーンについては、連日報道されている、カーボンニュートラルや、非効率石炭のフェードアウト、それに代わるエネルギーとして、再生可能エネルギー、洋上風力発電の導入拡大等が挙げられます。また、健康・医療については、感染予防など命に関わる生活物資等の安定生産拠点の確保等が挙げられます。

また、分野横断的課題への対応については、中小企業・地域、レジリエンス、人材・イノベーションの3本が立っています。また、国内政策と一体となった体外経済政策、そして、最重要課題として、廃炉・汚染水対策、福島の復興を着実に進めることが挙げられています。

こうして見ると、一年前には思ってもみなかったトレンドが生まれ、産業構造が変化し始めていることに気づかされます。会員企業の皆様の現場でも、様々な変化があるのではないのでしょうか。是非お話を聞かせいただければと思います。

【令和3年度経済産業省関係概算要求のポイント】

I. 「新たな日常」の先取りによる成長戦略 ～ウィズコロナ/ポストコロナ時代に求められる構造転換に向け、長期視点に立った日本企業の変革を後押し・加速～		
デジタル ～仕組みと事業のアップデート～ (1) デジタル基盤・ルールの整備 (2) デジタルを活用した産業の転換	グリーン ～コロナを機に脱炭素化を深化～ (1) 脱炭素化に向けたエネルギー転換 (2) 循環経済への転換	健康・医療 ～健康な暮らしの確保～ (1) 国民の命を守る物資の確保 (2) 予防・健康づくりの実現
II. 分野横断的課題への対応		
中小企業・地域 (1) 中小企業の新陳代謝 (2) 地域経済の強化と一極集中是正	レジリエンス ～安心して生活できる環境の構築～ (1) サプライチェーン強靱化・サプライネットの構築 (2) 経済・安全保障を一体として捉えた政策の推進	人材・イノベーション (1) 変革を実現する人材の育成 (2) イノベーション・エコシステムの創出
III. 国内政策と一体となった対外経済政策		
(1) 国際協調の維持	(2) 有志国との連携強化	(3) 海外展開支援強化
IV. 最重要課題：廃炉・汚染水対策／福島復興を着実に進める		
(1) 廃炉・汚染水対策	(2) 福島の復興	



歯車の最新技術をこの手に

歯車製造便覧のご案内

「歯車製造」をメインとした内容で、材料・熱処理や除去加工の「基礎」から、加工機械・加工方法・規定等の実用面に重点を置き、実例を多く取り上げるとともに、最新の技術を紹介しています。これから歯車に関わる方から実務に関わっている方に、便覧・解説書としてご活用ください。また、歯車技術の継承にも役立つものと考えております。



歯車製造便覧
編集委員会 編
A4判 254頁

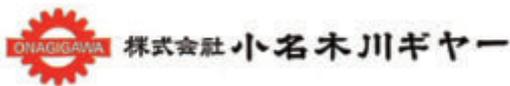
価格：15,000円(税抜) 会員価格：10,000円(税抜)

JGMA規格全集(DVD)のご案内

「平歯車及び円す歯車の精度」から始まり約60年長きに渡って、歯車の寸法、測定、加工、強度、潤滑、駆動、騒音など幅広い分野に対して作成されたものです。会員のみならず歯車に従事される多くの方々にご活用頂けるようにすべてのJGMA規格をDVDに集約し、規格番号順や制定時期順で表示できるほか、個別の規格の制定までの変遷をひもとけるよう、現在は廃止となった旧規格も収録しております。



価格：50,000円(税抜) 会員価格：30,000円(税抜) JGMA規格全集



株式会社小名木川ギヤー

代表取締役社長 岩崎 厚三



沿革

- 大正 9 年 岩崎鉄工所として創業
- 昭和 6 年 小名木川ギヤー製作所に社名変更し、歯車専門メーカーとなる
- 昭和 24 年 合資会社小名木川ギヤーとして法人化
- 昭和 50 年 株式会社小名木川ギヤーに改組
- 昭和 51 年 創業者岩崎省三が永年にわたる日本歯車工業会理事としての貢献に対して勲五等瑞宝章を授与される
- 昭和 56 年 千葉県茂原市に千葉工場を建設
- 昭和 61 年 製造業務すべてを千葉工場に集結
- 平成 16 年 千葉県大網白里市に大網工場開設



株式会社小名木川ギヤー 千葉工場 管理棟

事業内容

創業以来 100 年にわたり蓄積してきた技術により、主として建設機械・エンジン・フォークリフト・防衛車両などに使用される各種歯車など、国内の大手企業に多量から少量に至るまで、材料調達から完成までの一貫生産で品質・納期・コストで対応し、好評を頂いている。

今後はさらなる顧客の業種・業態に幅広く対応出来るよう営業活動と生産技術の向上を図って行きたい。



三菱 ギヤシェーパー SE-25



カシフジ ホブ盤 KN-151



カシフジ ホブ盤 KE-250 CNC

最後に

現在、生産現場のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の構築を検討中である。

当社の今後の発展には避けて通れない時代の要請および新技術への高い挑戦と受け止め、お客様の問合せに対する正確なりアルタイムの生産情報の提供、それを通して発見される社内のムダの排除など更なる経営の高度化に対する成果を期待している。

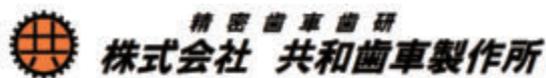
企業DATA

株式会社小名木川ギヤー
ONAGIGAWA GEAR Co., Ltd.

代表者名 岩崎 厚三
資本金 2,000万円
所在地 東京都江東区猿江 1-2-7
事業内容 各種歯車製造
従業員数 84名 2020年9月末現在
URL <http://www.onagigawa.co.jp/>



歯車製品



株式会社共和歯車製作所

代表取締役 萩原 寛佳



沿革

弊社は1948年、祖父萩原貢がお客様の軒下を借りて、ホブ盤1台で歯車の製造を始めました。ほどなく埼玉県川口市錦町に工場を立ち上げ、本格的に歯車の製造が開始されました。1965年には、当時では珍しかった歯車研削盤を導入し、高精度歯車の製造に力を入れていきました。1971年、前年に整備された川口新郷工業団地に工場を建設、翌1972年に新工場に移転、現在もその地で歯車を製造しております。2018年には創業70周年を迎え、100年企業、さらにその先の未来を目指し、日々精進しております。



共和歯車製作所本社外観

事業内容

弊社はおお客様のニーズに合わせた一品様な歯車の製造を得意としております。歯切設備は手のひらサイズから、最大Φ2,500mmまで対応しており、1,000種を超える歯切工具を揃えております。また歯車研削では、最大Φ2,000mmまでの設備を有し、成形研削方式、創成研削方式、マーズ研削方式に対応、またウォーム歯車の研削も得意としております。内歯車は最大Φ1,200mm、内歯車研削にも対応できる設備を有しております。

お客様に恵まれ、船舶用のエンジンやトランスミッション、工作機械、発電設備等、様々な産業機械で弊社の製品を採用いただいております。

弊社は歯車製造に特化した設備を行い、歯車製造に特化した技術を追い求めてくることができました。現在弊社では、今まで培ってきた歯車製造技術を軸に、グループ会社を通じて、歯車変速機等のユニットの設計・製造にも挑戦しております。

多品種少量中量・高精度高品質の歯車及び歯車変速機をお客様にお届けし、ご満足いただけるよう努力してまいります。



様々な歯車研削方式



VIPER500K 歯車成形研削盤



RZ400 歯車創成研削盤

最後に

共和歯車製作所は「見えないからこそ確かな技術、確かな対応力」を胸に、お客様のニーズに応えられるよう、全社員一丸となって取り組んでおります。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



P100 歯車測定機

企業DATA

株式会社共和歯車製作所
KYOWA GEAR CO.,LTD.

代表取締役 萩原伸宜
萩原寛佳
資本金 4,000万円
所在地 埼玉県川口市江戸袋2-8-6
事業内容 一般歯車設計・製造及び歯車変速機
設計・製造
従業員数 45名 2020年11月現在
U R L [http://www.machinemate.or.jp/
member/kyowa/index.html](http://www.machinemate.or.jp/member/kyowa/index.html)



清和鉄工株式会社

代表取締役 達 俊彦



弊社は、大正7年に大阪で創業、昭和40年に本社を現在の島根県出雲市に移し、今年創業100周年を迎えました。コロナ禍ということもあり創業式典等も今年には行わず、来年創業101周年として新たなスタートを期そうかと思案している次第です。

創業以来、一貫して歯車加工機の製造を行っておりますが、沿革等の詳細につきましてはJGMA News vol.52 (2019年春号)に「会員企業紹介」のページがございますので、そちらを参照願えればと存じますので、今回は業務内容に関し紹介させて頂きたいと思っております。

弊社は現在4つのカテゴリー（ブランド）で製品展開を行っております。

1. Artis (アルティス) シリーズ

創業以来の中核製品であるホブ盤のシリーズです。

高い機械剛性に裏付けられた高速加工性能と、ユニークなクイル移動構造による安定した加工精度が特徴であり、軸物や小形ワーク加工に適したヨコ型と、ワーク外径300mm、最大モジュール12までをカバーするタテ型4機種がラインアップされています。

新機種として小形ワークに特化した歯車スライディング盤を近日発表致す予定です。



Artis シリーズ HB056



Artis シリーズ HB306

2. Luxis (ラクシス) シリーズ

熱処理後歯車の仕上げ加工機のシリーズとなります。

外径250mmまで対応し噛み合いノイズ対策に有効な内歯式ギヤホーニング盤（同期式 / 非同期式）、CBNネジ状砥石を使用して高速加工が可能な歯車研削盤（ワーク外径120mmタイプ / 250mmタイプ）等がラインアップされています。



Luxis シリーズ

3. Fabris (ファブリス) シリーズ

工具関連加工機のシリーズです。

現在、ホブ刃溝研削盤が3機種とホーニング砥石の溝入れ機をラインアップしております。

4. Orbis (オルビス) シリーズ

よい機械をよりリーズナブルな価格で提供するための「世界最適地生産」をコンセプトしたのがOrbisブランドです。

現在、多品種少量生産に適したNCホブ盤（ワーク最大外径400mm）を台湾工場にて製造してお届けしております。



Fabris シリーズ

以上、弊社の製品を簡単にご紹介申し上げましたが、現在の、そしてこれまでの弊社の製品開発はすべてお客様のご要望がスタート地点となっております。

創業100周年を契機に、弊社ではもう一度ベンチャー企業の精神をもって新たな100年に踏み出す所存です。それはこれまで以上にお客様と問題点を共有し、あらたなソリューション、イノベーションを産み出そうとする取り組みであります。

これからも日本歯車工業会会員の皆様のよき応援団たることを目指してまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜れば幸いです。

企業DATA 清和鉄工株式会社



所在地 島根県出雲市斐川町上直江 2139-5
創業 大正9年(1920年)
設立 昭和19年(1944年)
資本金 9250万円
代表者 代表取締役 達 俊彦
事業内容 金属工作機械製造販売(ホブ盤、ホブ研削盤、歯車研削盤、等)



株式会社ナゴヤギア

代表取締役社長 藤島 忠康



沿革

1928年（昭和3年）に名古屋市熱田区にて歯切加工を創業、1939年（昭和14年）に株式会社として設立し歯車製造を経営、1951年（昭和26年）に商号を（株）名古屋ギヤー製作所とし、1957年（昭和32年）に現在の名古屋市南区滝春町に移転、1990年（平成2年）に社名を（株）ナゴヤギアに改名し以降創業から92年間、常に最新の設備を導入しながら歯車一筋に歩んでまいりました。

事業内容

私たちは変減速機をはじめ、一般産業機械、工作機械、航空機、自動車、ロボットなどに使用される各種歯車を材料から完成まで一貫生産し、お客様へ提供しています。提供する歯車はメイド・イン・ナゴヤギアのクオリティを守るべく製作した精密歯車で、厳しい品質チェックをクリアしたものです。特に、歯車に問われる低騒音性については、私たちは旧来より技術とノウハウを蓄積し、お客様より高い評価を獲得しています。また近年ではHÖFLER社の大型歯車研削盤RAPID1250、創成成形両方可なVIPER500Wなど最新の設備を導入し、品質、技術、生産向上に力を注いでおります。

最後に

私どもナゴヤギアは創業以来、歯車一筋に技術の研鑽を重ねてまいりました。

企業理念の「歯車を通じて社会に奉仕する」を基本とし、常に品質、技術の向上を目指し、お客様の期待に応えていく所存でございます。

今後ともナゴヤギアをどうぞよろしくお願い致します。



本社工場外観



90周年記念パーティー



HÖFLER



VIPER

企業DATA 株式会社ナゴヤギア

代表者	代表取締役社長 藤島 忠康
資本金	6,000万円
創業年月日	昭和3年8月
所在地	〒457-0819 名古屋市南区滝春町9番地 TEL : 052-612-1230 FAX : 052-612-1185
会社の目的	1. 歯車の設計並びに製作 2. 上記に附随する一切の業務
敷地・建物	本社工場敷地: 6,000m ² 本社事務所面積: 1,000m ² 本社工場面積: 3,200m ²
加盟団体	●日本歯車工業会 ●中部歯車懇話会 ●熱田法人会 ●名古屋市商工会議所



株式会社 日立ニコトランスミッション

取締役社長 片山 正典



沿革

日立ニコトランスミッションは旧新潟鐵工所の変速機関連事業を継承して2003年に発足し、更にその3年後に日立製作所の同事業を統合して今日に至っています。創業は1952年（昭和27年）で米国ツイン・ディスク社と旧新潟鐵工所の技術提携による合弁会社として当時の日本国有鉄道殿向ディーゼーカー用トルクコンバータの専門メーカー「新潟コンバーター」として新潟県加茂市に産声を上げました。社名の「ニコ」は創業時の変速機製造会社「新潟コンバーター」が「NICO（ニコ）」のブランド名を使用していたことに因むものです。

その後、ツイン・ディスク社の基幹技術である湿式多板油圧クラッチを使った船舶用減速逆転機の技術を導入、1963年（昭和38年）船舶用減速機の専門工場として、大宮市（現さいたま市）に新たな工場を設立しました。今ではとても想像することすらできませんが、当時は敷地内に兎や狸が駆け回り、蛇が出没していたということです。現在、大宮・加茂それぞれの事業所には最新鋭の設備が導入され、ITを活用した生産システム、厳格な品質管理の下に製作された動力伝達装置は日本国内はもとより海外にも出荷され世界で活躍しています。

事業内容

弊社はトルクコンバータ等の流体機械、歯車、湿式多板油圧クラッチとその制御技術を基盤技術としており、それらの技術を組み合わせあらゆるニーズに対応した動力伝達装置を製作しています。

中でも船舶用・鉄道車両用等乗り物に関する製品が全体の7割超を占め、各々の分野で確固たる地位を築いています。特に高速船・鉄道車両では省エネの視点から軽量化が要求され、ケーシングのアルミ化、内部部品の軽量化技術を磨いてきました。又、船舶用では大型歯車研削盤の導入により質量約170トンにも及ぶ国内最大級の船舶用減速機の製作実績に繋がっています。一方、ガスタービン/スチームタービンを原動機とした発電用に高速遊星歯車減速機及び平行歯車減速機の大容量化・高速化も強力に推し進めているところです。

弊社が得意とする技術としてコントローラによる制御技術が挙げられます。クラッチの油圧・流体継手の油量等をコントローラで自在に制御し、無段階変速制御、一定回転速度制御、制動制御、微速制御等自在に速度、伝達トルク、ブレーキ力等を制御することが可能です。

最後に

弊社では今後も新鋭設備の導入、人材の育成を図り、より高精度・高性能な変速機を設計・製造していく所存です。



鉄道車両用軽量仕様トランスミッション



本社、大宮事業所



加茂事業所



大型船舶用減速機
(長さ7.1m、幅6.3m、高さ3.7m、質量170t)

企業DATA

株式会社 日立ニコトランスミッション
Hitachi Nico Transmission Co.,Ltd.

代表者 取締役社長 片山 正典

資本金 4億5000万円

本社・事業所所在地

本社 大宮：埼玉県さいたま市

加茂：新潟県加茂市

営業拠点 大宮、札幌、大阪、福岡、海外営業拠点

事業内容 船舶、鉄道車両、建設機械、産業機械等の動力伝達装置の開発、設計、製造、販売

従業員 525名(2020年3月末現在)

URL <http://www.hitachi-nico.jp>



有限会社柴田製作所

・会社沿革

1986年3月 柴田浩司が有限会社 柴田製作所を設立。

2019年7月 佐野勝俊が代表取締役役に就任し、経営改善に着手。技術力とコスト競争力の向上に努めています。

・主力商品

主に減速機に使用されるギア・重機などに使用される鋳物。

・当社の強み

自動生産設備により少人数でローコストを実現し、高精度、高耐久が求められる仕様設計に応え“8/1000mm”での加工が可能です。前期は「製品不良ゼロ」を達成し、品質にも自信があります。また、鋳物の切削も可能です。(12月に新設備を導入します!)

・最後に

柴田製作所では様々なことにチャレンジしたいと考えています。

皆様に貢献できるように尽力して参りますので、ご指導の程、宜しくお願いたします。



本社

企業DATA 有限会社柴田製作所

所在地 愛知県知多郡東浦町大字緒川上家左川100番地1

TEL：0562-83-2176

FAX：0562-83-1864

創業 昭和61年3月

社員数 4名

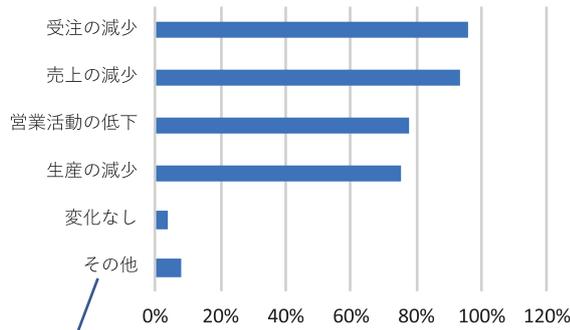
事業内容 金属加工（重機・建設機械向け減速機ギアの加工及び中型鋳物品の切削加工）

HPアドレス <https://www.shibata-seisakusho.co.jp/>



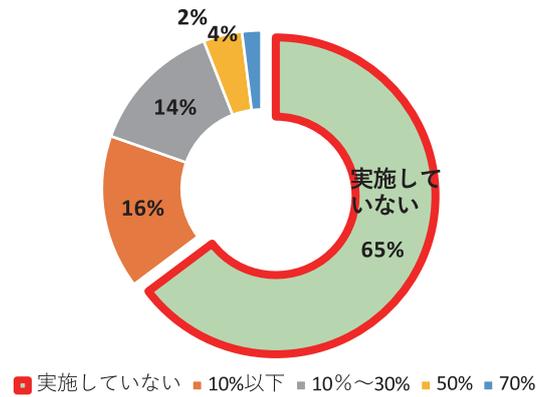
今回のアンケートの集計結果をご報告をいたします。

Q1 新型コロナウイルス感染拡大でどのような影響がありましたか

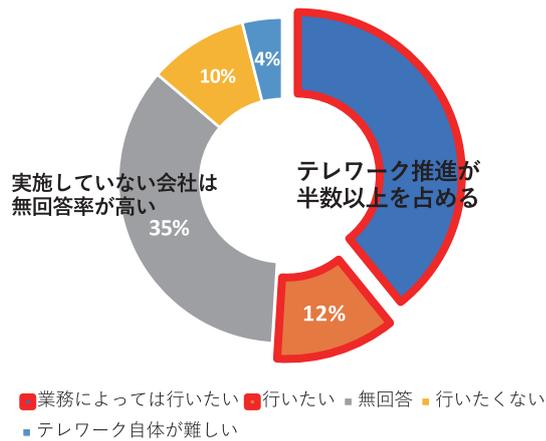


多在庫過剰、残業規制、各種行事の中止、接待交際費の減少、工場見学の受入中止、感染対策に伴う諸経費用増（テレワーク、通勤手段配慮など）

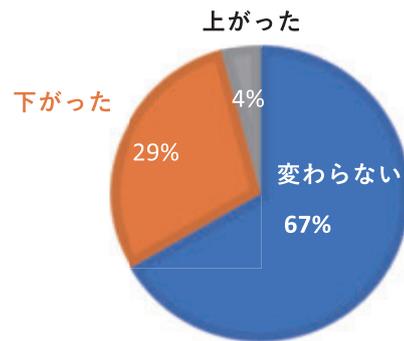
Q2 テレワークを実施している会社全体の割合



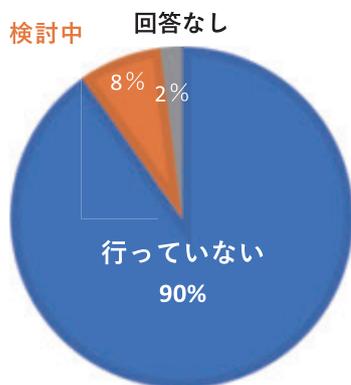
Q3 新型コロナウイルスの感染が収束してもリモートワークを継続したいですか



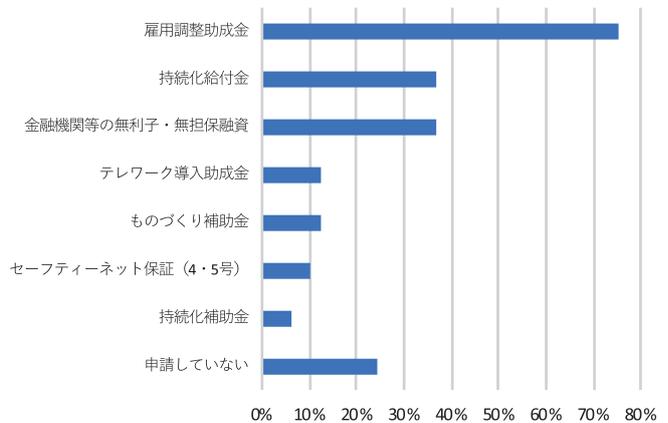
Q4 リモートワークを実施して業務の生産性は上がりましたか



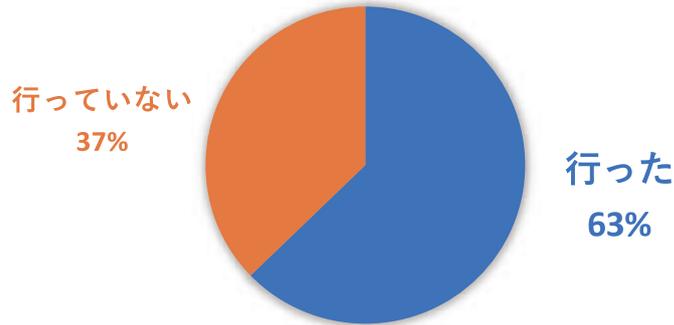
Q5 サプライチェーンの見直しを行いましたか



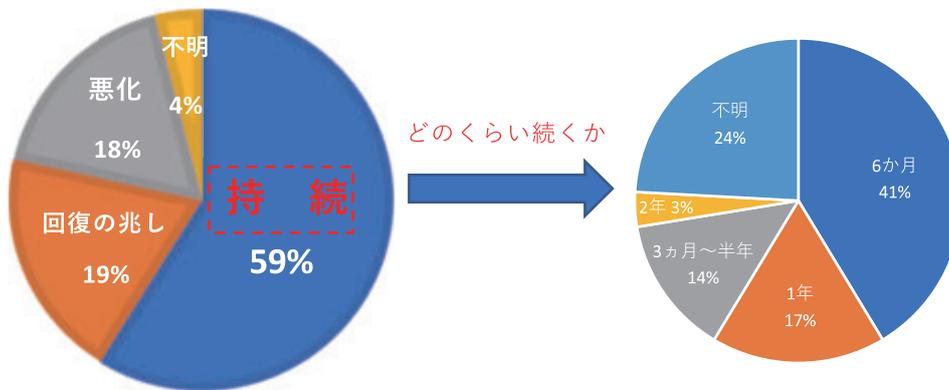
Q6 同感染症に係る利用済み・利用予定の支援制度をチェックください



Q7 支援制度を申請するに当たって休業を行いましたか



Q8 今後の情勢の見通しについて



Q9 歯車工業会に求める支援などをご自由にお答えください

- ・ 会員企業が欲しい情報を HP 等で共有、また Web コミュニケーションの促進支援
- ・ ビーアルの場が欲しい
- ・ 業務に係る海外出入国制限の緩和を政府に働きかけていただきたい
- ・ 経済産業省を中心とした政府の施策情報の早期提供
- ・ 政府関係の情報を今後とも送信していただければありがたい
- ・ 大きな金額のもの補助の情報が在れば早急に教えていただきたい
- ・ 雇用調整助成金の期間延長促進

Q10 会社独自の感染対策があればお答えください

- ・ 毎朝の間診、体温チェックの報告
- ・ 就業時間シフトによる混雑通勤時間回避
- ・ バス通勤社員に対する専用バス配備、日々の体温・体調管理（来訪者含め）
- ・ 時差出勤、時差休憩、会議室定員の制限、海外渡航禁止、社員食堂対策（割り箸の利用、座席の制限等）
- ・ デスク配置換え、マスク着用、社内消毒、COCOA 登録、リモート会議、
- ・ コロナ感染とインフル感染の症状が似ている為、インフル時期に混乱が予想されるため社員、家族を含め、インフルの予防接種を会社負担で行う
- ・ 大都市圏を通過して遠方へ出張した場合は、交通手段に寄らず 1 週間自宅待機
- ・ 社内発熱規定、事業継続計画の更新
- ・ 朝礼を中止し、情報伝達をオンライン化。出張精算などでの現金授受を振り込みに変更
- ・ 来訪者にアンケート及び検温のお願い、公共交通手段以外での出張

日本歯車工業会事務局 活動報告

月	各委員会	事務局
4月		・テレワークに向けて環境作り（携帯電話、モバイル PC の手配）
5月	・委員長会議 (Web) 開催	・各事業のマニュアル作成 ・人脈リストのデータベース化 ・CISCO WEBEX の導入
6月	・委員長会議 (Web) 開催	
7月	・委員長会議 (Web) 開催	
8月	・委員長会議 (Web) 開催	・ハイブリッドの環境整備 (WEB 会議用マイクスピーカー、カメラ購入) ・JGMA ニュース夏号 発刊
9月	・委員長会議 (Web) 開催 ・JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会 (Web) 開催 ・ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会 (Web) 開催	・アンケート調査開始 ・HP リニューアルに向けての準備 ・新型コロナウイルスに関する助成金を調査
10月	・委員長会議 (Web) 開催 ・経営研修会講演会（オンラインと会場併用）開催 ・JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会 (Web) 開催 ・標準化委員会 (Web) 開催	・HP リニューアル ・各種研修会等申込方法の整備 ・助成金の申請を開始
11月	・委員長会議 (Web) 開催 ・理事会（会場とオンラインで併用）開催 ・若手経営者研修会（会場とオンラインで併用）開催 ・JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会 (Web) 開催 ・ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会 (Web) 開催	・JIMTOF2020 オンライン参加

今後の予定

12月	・委員長会議 (Web) 開催 ・ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会 (Web) 開催 ・JGMA ニュース冬号 発刊
1月	・委員長会議 (Web) 開催 ・標準化委員会
2月	・委員長会議 (Web) 開催 ・理事会 ・JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会 ・ギヤカレッジ・フォローアップ研修会（オンライン予定）
3月	・委員長会議 (Web) 開催 ・理事会 ・JGMA ニュース春号 発刊

Gear Design Program

歯車の寸法、歯形、強度、応力解析、工具設計等々のご要望にお応えします。カタログご請求ください。



AMTEC
Amalgamation Technology

アムテック株式会社

〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30 プリオタワー4305
TEL:06-6577-1552 FAX:06-6577-1554 www.amtecinc.co.jp E-mail: info@amtecinc.co.jp

(一社)日本機械学会, (一社)日本歯車工業会, (公社)精密工学会/成形プラスチック歯車研究専門委員会

会員数：122社（2020年11月20日現在 五十音順 法人格省略）

正会員＜89社＞

株式会社浅野歯車工作所
株式会社浅野歯車製作所
株式会社アベックス
アムテック有限会社
株式会社池田歯車製作所
磯上歯車工業株式会社
有限会社伊藤歯車製作所
株式会社稲坂歯車製作所
株式会社イワサテック
株式会社植田鉄工所
宇野歯車工業株式会社
MHI ハセック株式会社
大久保歯車工業株式会社
株式会社大阪減速機製作所
大阪精密機械株式会社
株式会社大阪歯切工場
株式会社岡田歯車工作所
株式会社岡常歯車製作所
岡本工機株式会社
株式会社小笠原プレジジョンラボラトリー
尾崎ギヤー工業株式会社
株式会社小名木川ギヤー
オリエンタルモーター株式会社
株式会社オンド
株式会社オージック
カツミ工作所
株式会社カワグチキカイ
株式会社川島製作所
株式会社神崎高級工機製作所
株式会社菊伊歯車

菊地歯車株式会社
協育歯車工業株式会社
株式会社共和歯車製作所
岐阜ギヤー工業株式会社
株式会社ギヤテック
株式会社日下歯車製作所
株式会社栗崎歯車製作所
株式会社功晴精密
神戸歯車株式会社
株式会社コウリツ
株式会社古賀歯車製作所
小原歯車工業株式会社
坂西精機株式会社
三輪工機株式会社
有限会社柴田製作所（**新入会員**）
株式会社島製作所
住友重機械ギヤボックス株式会社
株式会社精密歯研工業所
清和鉄工株式会社
泉州歯車工業株式会社
株式会社ソーシン
滝沢歯車株式会社
大和歯車製作所株式会社
株式会社椿本チエイン
株式会社東京テクニカル
株式会社常磐
株式会社ときわ歯車製作所
株式会社トヨフク
株式会社中西製作所
有限会社中村製作所

株式会社長岡歯車製作所
永田鉄工株式会社
株式会社ナゴヤギア
株式会社ナミキツァーシラート
鳴滝工業株式会社
株式会社日伸歯車工業
株式会社ニッセイ
日本ギア工業株式会社
株式会社日本ジェット
有限会社八龍歯車工作所
浜井産業株式会社
阪神動力機械株式会社
株式会社ハーティス
株式会社日立ニコトランスミッション
株式会社寶角ギヤー
株式会社前田精密製作所
株式会社マキシコー
松本精機株式会社
株式会社三橋歯車製作所
株式会社宮川歯輪
株式会社都精機
名東歯車株式会社
株式会社元久保工作所
株式会社森歯車工作所
株式会社安川製作所
株式会社山崎歯車製作所
豊精密工業株式会社
株式会社ユニテックギア
株式会社淀川歯車製作所

賛助会員（33社）

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
アヅミ株式会社
株式会社恵美須屋工具製作所
オークマ株式会社
株式会社オーネックス
株式会社カシフジ
北井産業株式会社
九州精密工業株式会社
京都ダイヤモンド工業株式会社
株式会社京二
グリーンソニアアジア株式会社

高周波熱錬株式会社
品川重工株式会社
株式会社ジェイテクト
竹田商事株式会社
第一高周波工業株式会社
DTR JAPAN 株式会社
DMG 森精機株式会社
東陽建設株式会社
東洋電機製造株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社 TONEZ

日本クリンゲルンベルグ株式会社
日本製鉄株式会社
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
パーカー加工株式会社
福山熱錬工業株式会社
株式会社フューチュアテック
三菱重工工作機械株式会社
ヤマザキマザック株式会社
ライスハウアー株式会社
リープヘル・ジャパン株式会社
レイボルド株式会社



JGMA
Japan Gear
Manufacturers
Association

『JGMA News』 2020 Winter (Vol.56)

発行人 植田 昌克
発行所 一般社団法人日本歯車工業会
〒105-0011
東京都港区芝公園 3-5-8-208
TEL 03-3431-1871
FAX 03-3431-1872
E-mail info@jgma.org
WEB <https://www.jgma.org>

本部（東京） 〒105-0011
東京都港区芝公園 3-5-8-208
TEL 03-3431-1871

東日本支部 菊地歯車株式会社内
〒326-0332
栃木県足利市福富新町 726-30
TEL 0284-71-4315

中日本支部 豊精密工業株式会社内
〒489-0071
愛知県瀬戸市曉町 3-45
TEL 0561-48-2221

西日本支部 株式会社寶角ギヤー内
〒671-0295
兵庫県姫路市花田町一本松 406 番地
TEL 079-253-0713